A yellow scroll graphic with a black outline, featuring a rolled-up top edge and a hanging tail on the left side. The text is centered on the scroll.

**エール**  
**発達・教育支援センターの**  
**支援体制について**

**「エール」**  
**日野市発達・教育支援センター**

# エール（日野市発達・教育支援センター）

## 「エール」の開設

平成26年4月



0歳～18歳までの、発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子供、子供の育ちについて不安のある保護者、関係機関に対し、**福祉分野と教育分野が一体となって切れ目のない支援、総合的な相談や支援を実施**

## センターの3つの特徴

発達や教育に係る相談・支援の窓口が一本化し、  
わかりやすい相談体制としました。

「発達支援課」と「教育支援課」を設置

福祉と教育の連携による切れ目のない支援を実施し  
ます。

多様な専門職による総合支援を実施します。

(心理士、言語聴覚士、作業療法士、保健師、就学相談員  
特別支援教育総合コーディネーター、スクールソーシャル  
ワーカーなど)

# センターの支援体制

## 発達支援課

### 発達相談・支援

専門指導  
トレーニング  
児童発達支援事業

【支援スタッフ】

言語聴覚士 作業療法士・  
保育士 等

## 総合相談 支援

心理相談  
かしのきシート  
不登校など困難  
ケースへの支援

【支援スタッフ】

心理士、保健師  
スクールソーシャルワ  
ーカー

## 教育支援課

### 特別支援教育

就学・進学相談  
入級・転学相談  
特別支援教育

【支援スタッフ】  
特別支援教育総合コーディネ  
ーター  
就学相談員

発達・教育支援システムでカルテを一本化して情報を共有

# センターの相談支援体制

保護者、関係機関

福祉と教育  
の相談窓口  
を一本化

## センター総合相談受付

保健師・臨床心理士・特別支援教育総合  
コーディネーターが相談に対応  
適切な相談担当及び必要な支援につなぐ

就学相談

心理相談

医師、保  
健師によ  
る相談

# かしのきシート

## エールを中心に作成する福祉と教育が一体となった「個別の支援計画」

### 内容

子どもの成長記録やサポート内容を1年ごとに1枚のシートにまとめ、保護者同意の上で記録、保存、引き継ぎ

### 関係機関

エール、保育園、幼稚園、小・中学校、学童クラブ、高等学校等

### かしのきシート

エール(日野市発達・教育支援センター)では、お子様の成長の様子を記録した個別の支援計画(通称:かしのきシート)を作成し、お子様の育ちをサポートしていきます。

#### かしのきシートとは

0～18歳までのお子様の成長の記録や受けたサポート内容を、切れ目なくつなぐ日野市のシステムです。  
お子様の入園や入学、進学にあたり、今までの成長の記録やサポート内容を次の機関につなぐことにより、一貫した切れ目のない支援が実現します。  
「かしのきシート」を通じて、保護者とともに、お子様にかかわるすべての機関が連携してお子様を育ちをサポートしていくことを目指しています。

#### こんなシートです

- お子様の幼児期の保護の様子から始まり、保育園や幼稚園、小中学校での様子やサポートを受けた内容を1年ごとに1枚のシートにまとめていきます。
- 保育園や幼稚園、小中学校の様子は、担任の先生がシートを作成し、保護者の方に確認しながら完成させます。
- エールで受けたさまざまなサポート内容は、担当する専門職の先生がシートを作成し、保護者の方に確認しながら完成させます。
- 1年ごとにシートを作成することにより、「こんなことができるようになった」など、お子様の成長の様子がわかります。
- 小学校への入学の前には、保護者の方が学校へ伝えたいことなどを記入することもできます。

**【かしのきシートの名称の由来】**

「かしの木」は日野市の市木であり、青緑色でゆっくり成長をし、大きな木になり、実もつける。かしの木が大切に成長してほしいという願いをこめて保護者の方が命名しました。

(問い合わせ先)  
エール(日野市発達・教育支援センター)  
日野市旭が丘 2-42-8  
Tel 042-589-8877 Fax 042-514-8740

「かしの木」は日野市の市木常緑樹で大きな木になり実もつける。成長を願って保護者が命名

# かしのきシートの導入について

## かしのきシート利用者

市内在住で、0歳～18歳までの発達面、行動面、  
学校生活面において支援を必要とする子供

メールで支援を受けている方

市立小・中学校の特別支援学級  
(固定学級、通級指導学級、特  
別支援教室)に在籍する方

市内特別支援学校に在籍する方

その他、保護者が希望をする方  
で、かしのきシートの利用が必  
要な方

## かしのきシートに 含まれるもの

個別の教育支援計画(学校生活支  
援シート)

就学支援シート

(幼稚園・保育園から小学校へ)

進学支援シート

(小学校から中学校へ)

就学時、進学時の一時的利用も可

# 「かしのきシート」による切れ目のない支援

エールを中心とし、関係機関との連携による幼児期から学校卒業後までの切れ目のない支援情報の共有と活用

## これまでの支援情報

< 福祉関係 >  
かしのきシート  
(個別の支援計画)

< 教育関係 >  
個別の教育支援計画  
就学・進学支援シート

3歳児シート
4歳児シート
5歳児シート兼 就学支援シート
小1シート
小2シート
小3シート
小4シート
小5シート
小6シート兼 進学支援シート
中1シート
中2シート
中3シート
中学卒業以降シート

就学支援シート
教育支援計画(小1)
教育支援計画(小2)
教育支援計画(小3)
教育支援計画(小4)
教育支援計画(小5)
教育支援計画(小6)
進学支援シート
教育支援計画(中1)
教育支援計画(中2)
教育支援計画(中3)

福祉と教育が一体となり「かしのきシート」を電子システムにより運用

## かしのきシート

< 発達・教育支援システム >  
個別の支援計画であり、個別の教育支援計画及び就学・進学支援シートを兼ねる

3歳児シート
4歳児シート
5歳児シート兼 就学支援シート
小1シート兼教育支援計画
小2シート兼教育支援計画
小3シート兼教育支援計画
小4シート兼教育支援計画
小5シート兼教育支援計画
小6シート兼教育支援計画 進学支援シート
中1シート兼教育支援計画
中2シート兼教育支援計画
中3シート兼教育支援計画
中学卒業以降シート

エールによる移行支援

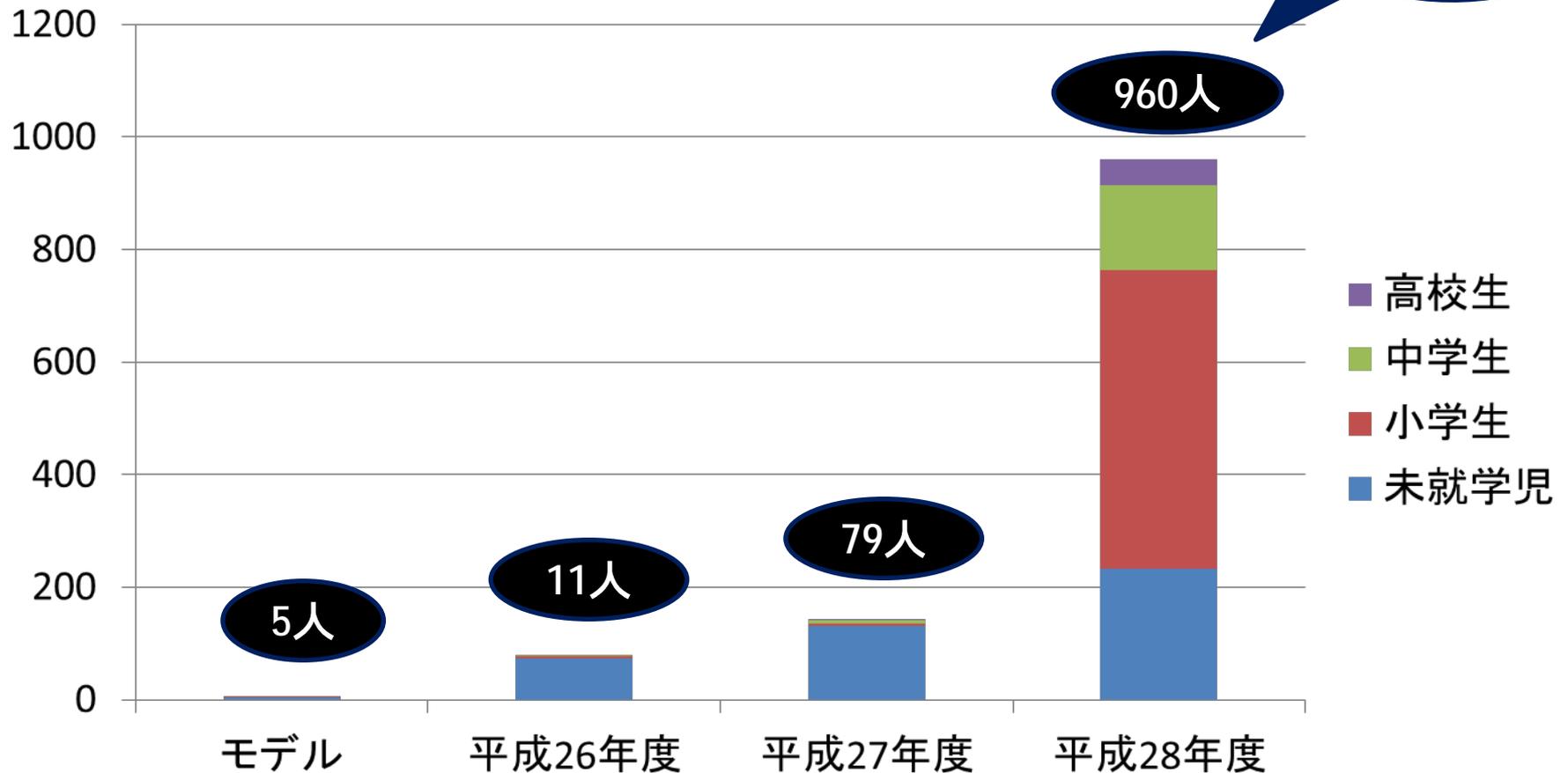
エールによる移行支援

エールによる移行支援

# かしのきシート作成状況

H29.9.1現在

1,049人



# かしのきシートの引き継ぎ状況 （平成29年度入園・入学）

	保育園 幼稚園 引き継ぎ	学童クラブ 引き継ぎ	小学校 引き継ぎ	中学校 引き継ぎ	高校 引き継ぎ
移行 児童数	33名	10名	166名	100名	27名

高校、市外施設へは電子システムでの引き継ぎはできないため、紙シートで引き継ぎを実施

紙シートの場合には、エールが引き継ぐか保護者が引き継ぐかを、保護者が選択



# ●システム稼働に至るまでの経過

## 導入までの経過

平成 25 年 3 月	「切れ目のない支援検討委員会」提言の 1 つ
平成 27 年 11 月	個人情報保護運営審議会諮問/承認 日野市情報セキュリティ対策本部報告、システム構築開始
平成 28 年 2 月	民間幼稚園・保育園パソコン端末等環境調査
3 月	システム構築終了（連携システムとの稼働テスト終了）
4 月	情報管理機能、日常記録管理機能 運用開始
<u>10 月</u>	<u>個別帳票支援機能（かしのきシート） 運用開始</u>
平成 29 年 2 月	かしのきシート移行支援開始
9 月	民間幼稚園・保育園操作/セキュリティ研修、接続/運用開始

H28 年度  
42 拠点



民間幼稚園 (10)  
民間保育園 (25)



H29 年度  
77 拠点

# ● 発達・教育支援システムの3大機能

## 1. 利用者情報管理機能（台帳/名簿）

- 氏名、住所、生年月日、Eメール利用サービス情報 など  
福祉と教育で個別管理していた利用者情報を一元的管理

外部拠点との  
情報共有

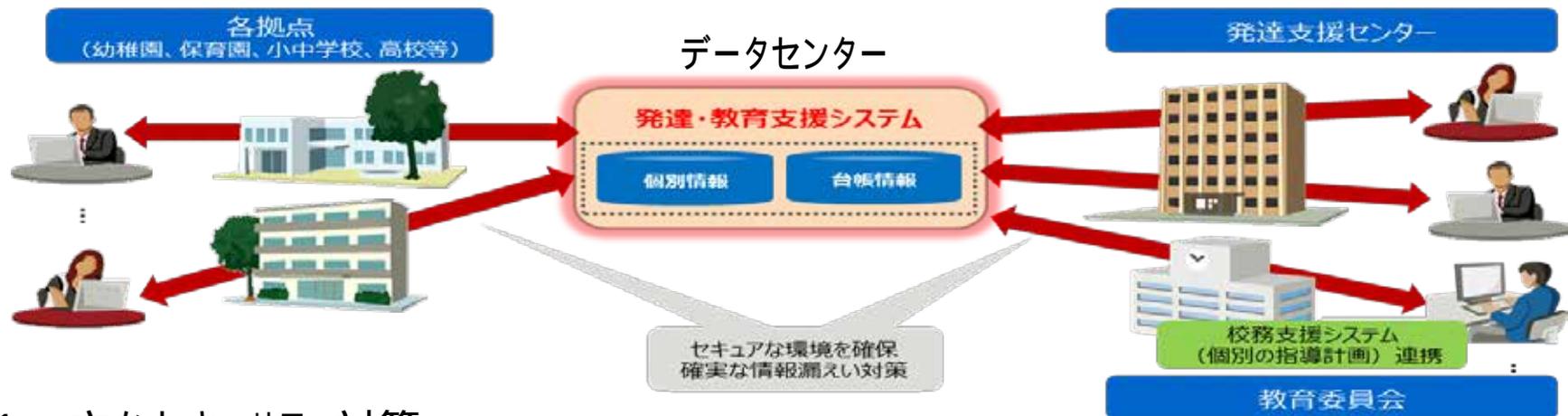
## 2. 個別帳票支援管理機能（かしのきシートの移行支援）

- およそ40シートの作成と情報の利活用 など  
市内統一様式による一貫性のある支援、瞬時の情報移行を実現（現1000名）

## 3. 日常記録管理機能（カルテ）

- 臨床心理士等による相談・指導、支援方針等の記録 など  
専門職単位で分散管理されていた記録を完全共有

# ● システムのネットワークイメージ



## 1. 主なセキュリティ対策

- 民間拠点には「高度なセキュリティ機能のあるソフトウェア」を導入
- 接続拠点全てがPC端末等に電子情報（キャッシュ）が残らないシステムを実現  
システムで管理する情報はコピー操作による外部持ち出しが不可、原本データを完全管理

## 2. 外部拠点間の接続イメージ



# ● 学齢期における情報との連携について

## <背景>

日野市では「個別の教育支援計画」の元となる指導計画等を校務支援システムで作成

## <着眼点>

既存の仕組みはそのまま、役立つ情報は最大限活用し支援情報を構築

## <導入効果>

教員の作業負担を極力少なく、支援情報や帳票の重複作成/管理を防止

### 校務支援システム

A screenshot of the School Support System interface. It shows a form with various fields for student information. A red rectangular box highlights a specific section of the form, labeled with a red letter 'A'.

児童生徒のようす（実態把握）

A screenshot of the School Support System interface, showing a form for individual guidance plans. A red rectangular box highlights a section of the form, labeled with a red letter 'B'.

個別の指導計画

CSVデータにより  
取り込み



### 発達・教育支援システム

A screenshot of the Development/Education Support System interface. It shows a form where data from both systems is combined. A red rectangular box highlights a section of the form, labeled with a red 'A + B'.

個別の教育支援計画  
= かのきシート

# ●切れ目のない支援の普及

第8回教育ITソリューションEXPO  
EDIXへの出展

自治体通信Vol.11への掲載



**「切れ目のない支援」の普及**

「切れ目のない支援」の普及を推進する自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。

記事のタイトルは「福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する」です。記事は、自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。

記事のタイトルは「福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する」です。記事は、自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。



**福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する**

自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。

記事のタイトルは「福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する」です。記事は、自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。

記事のタイトルは「福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する」です。記事は、自治体通信Vol.11に掲載された記事の抜粋です。記事は、福祉と教育の一体化を進め、発達障害児への「切れ目のない支援」を実現する取り組みについて詳しく紹介しています。

多くの子どもたちが共生し、活躍できる社会の実現を目指していきます。